



一宮地区公共施設再編 ワークショップニュース

《編集・発行》
豊川市役所 総務部
財産管理課
電話 0533-89-2108
FAX 0533-89-2163

今年度、豊川市では、一宮地区における将来の公共施設のあり方を考えるにあたり、全2回の予定で地域の方々と一緒にワークショップを行い、地域の将来像や、再編施設に必要な機能等について検討を行っています。8月17日（水）には、第1回目のワークショップが行われ、事前にご応募いただいた一宮地域の方々や地元の学生など、計14名が参加されました。参加者の方々からいただいた、たくさんのアイデアやご意見について、ニュース形式にてまとめてみましたので、ご覧ください。

住民ワークショップ 全2回の日程と主な構成

回	テーマ	内容
第1回 (8/17)	一宮地区の公共施設のあり方についてみんなで考えよう！	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)一宮コミュニティネットワーク構想や地区の現状について確認する ・対象敷地の現状や再編プラン案(ゾーニング)について確認する ・一宮地区の公共施設について大まかな利用イメージ、将来像を考える
第2回 (9/7)	一宮地区の公共施設の再編プランについてみんなで考えよう！	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のWSをふまえ再編施設における施設間のつながり等について考える ・再編のアイデアにおけるメリットやデメリットについて考える ・地域との関わりを考え、どんな活用・運営を行っていくと良いかを話し合う

第1回 ワークショップ ◆日時:8/17(水) 18時30分~20時30分 ◆場所:一宮生涯学習センター(参加者14名)

◆「一宮地区の将来の公共施設のあり方についてみんなで考えよう！」と題して皆で話し合いました。



◆ABC3つの班に分かれて話し合った内容の抜粋を以下にまとめました。

	A班	B班	C班
話し合いの成果			
キャッチフレーズ	広がる世代交流！ 一人一人を大切に♥	気軽に多世代が交流できる！ 市の施設っぽくない来たくなる場所！ 地元が集まれ！	コンビニに行こう！ 役場に行こう！ 退屈だったら行ってみよう！
将来像キーワード(抜粋)	つながりのある場(マルシェ、飲食スペースが欲しい) / 中学生と大学生の交流の場、世代に関係なく交流 / 地域のイベントが開催できる / コンビニ感覚で立ち寄れる / 学生が勉強できる場 / 一宮の歴史がわかる(展示)場など	世代交流(親子で遊べるアスレチック、ホルダリング) / 地元愛を育む場 / マルシェやキッチンカーがある施設 / 集まるきっかけとなる仕掛け / 防災機能 / 健康が維持できる場 / 勉強ができる場 など	住民最優先の施設 / コンビニのように利用しやすく親しまれる施設 / 災害時の中心施設 / 交流や学びのある施設 / 児童館と託児所が一緒 / キッズニア東京のような職業体験施設 / など

◆ABC3つの班の意見を一つに集約したものを以下に整理しました！

再編施設の
利用イメージ
に関する
コメント
(まとめ)

◆世代間交流が図れる場としてのアイデア

- 世代に関係なく、交流できる施設（中高生と大学生の交流、子育て世代の交流など）
- 高齢者が集まりやすい場（地域バスが利用できるようバスの運行）
- 地域イベント（交流）を行うことが可能となる施設
- コンサートなどできるスペースがあると良い
- 広い会議室や図書館を遅くまで利用できると良い
- 学生が集まる場
- 一宮地区の産業、農業などの発信の場



◆利用しやすい施設

- 住民最優先の施設
- 新たなシンボルとして、長く、多くの人に親しまれる施設
- 気軽に立ち寄れるコンビニ感覚な施設（働いている方でも、仕事の後で利用できる忙しい子育て世代も利用できる）
- 週末に家族で遊びに行け、障がいを持つ方や外国人の方も安心して利用できる

◆具体的なプログラムアイデア

- 週に1回ダンベル体操、月に2回パッチワークが利用できるような場所がほしい
- 施設の予約が取りやすく見えやすい
- カフェとかが併設されていると良い
- マルシェ、キッチンカーのある施設
- 足湯や小さな畑があると良い
- 親子で遊べるアスレチック、ボルダリングがあると良い
- “キッズニア東京”（子ども達の職業体験）的な施設がほしい
- 児童館と託児所が一緒であってほしい
- 利用率の低い世代の率を上げたい（子どもや学生が日常生活の中で利用する）



◆災害時に役立つ施設

- 災害時の時の中心施設となるように、防災機能を備えた施設（子ども、女性が使いやすい避難所、太陽光発電）
- 調理場施設の充実

再編施設で
気になること、
注意すること
のコメント
(まとめ)

◆敷地の制約と有効活用、アクセス面

- 広い敷地ではないので、建物・駐車場で使いたい
- なるべく広場はなくす
- 市民の方々が多く集まるためには十分な駐車場が必要
- 車で来場する際の敷地内や道路からの進入の安全性を確保
- 車以外での交通手段を考えてほしい（公共交通：コミュニティバス）
- 静かに利用するところと賑やかな施設を明確に分ける
- 子どもが活発に遊べる場所がほしい
- 広場など集まりやすい施設

◆利用者層の偏り

- 一部世代に利用が偏らないようにしたい（同じ人しか利用しない）
- 今の利用者を大切にしたい施設

◆その他

- 施設が暗くないようにする
- 広い敷地のある希全センターの有効活用についてのアイデア

みなさん、たく
さんの意見あり
がとうございま
した！



ワークショップの感想

●他の方の意見を聞くのは、新鮮で自分では出てこないような意見が多く勉強になりました ●学校での課題に取り組む時とは違った視点で建築を考えることができ、とても良い経験になりました ●真剣に一宮の未来のことを考えている方が多くいて楽しい会でした ●刺激になりました。国道 151 号からの動線が気になります ●「小さな畑」よいと思います ●若い方の考えや年齢を重ねた方々の意見は、将来のためにも尊重すべき ●民間事業者をうまく活用し、運営面の委託等、市民が活用しやすい施設であることを願っている ●自分が思っていることを思うがままに出させてもらったがまとまりがなくて残念な気持ち ●一宮地区の未来の話に参加できて思っていることが伝えられてよかった ●若い方々が世代交流を考えてくれてうれしかった ●実際に利用されている方からの意見が貴重でした ●今回のWSの目的と一宮地区の現況を簡潔に説明いただいてわかりやすかった ●防災や会議室の先進事例があればうれしいです。第2回目には是非提示してください ●色々な人と交流ができて楽しかった ●公共施設は、健康と文化的なことを充実できる場所であることが求められると思います ~たくさんのご意見ありがとうございました！！